

12月2日(土)

18時00分～21時(17時50分開場)

会場: 港区立産業振興センター

ホール小 TEL:03-3578-2558

東京都港区芝 5-36-4 札の辻スクエア 11階

【アクセス】JR 田町駅から徒歩4分、都営三田線三田駅から徒歩2分



第38回学習会

シリーズ

6回目

731部隊の細菌戦

資料代1000円

戦後の731部隊 再建準備とその挫折



講師 **奈須 重雄** さん(731部隊研究者)

1951年、自衛隊の前身である警察予備隊に増田美保が入隊した。増田は、元731部隊薬剤少佐であり、航空班所属のパイロットであった。1941年には、自ら九七式軽爆撃機を操縦して、中国湖南省常德の上空からペストを散布した。細菌戦のプロが何故警察予備隊に入隊したのであろうか。

1955年8月に、陸軍省医務局医事課長であった金原節三大佐が、自衛隊に入隊し、即自衛隊衛生学校長となった。ここから、731部隊再建の活動が始まる。

《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦部隊(のち731部隊と称す)を1930年代から中国黒竜江省に設けた。731部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。他方、細菌作戦は1940年から1942年にかけて中国の吉林省(農安)、浙江省(衢州・寧波等)、湖南省(常德)や江西省(広信・広豊・玉山)などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも3万人の住民を虐殺。1944年以降も731部隊は米軍に対する細菌戦の発動も準備していた。

731部隊問題関連裁判の裁判日程

傍聴をお願いします!

- ・衛生学校記事 情報公開裁判【東京地裁民事第51部】8月29日(火)11時30分(103号法廷 判決言い渡し)
- ・化学学校記事 情報公開裁判【東京地裁民事第3部】10月18日(水)11時(522号法廷)

主催:NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター

2023.08.10

共同代表 近藤昭二【ジャーナリスト】・王選【細菌戦犠牲者遺族、義烏市第二次大戦細菌戦問題研究センター主任】・奈須重雄【731部隊研究者】

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋1-21-5/ Email: info@ichinoselaw.com 担当元永(もとなが)

Tel:03-3501-5558 Fax:03-3501-5565 ◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>